



2017年の津田沼駅周辺の空撮動



### 大正9年創業 有限会社 かし熊

〒274-0825 千葉県船橋市前原西2-14-8 津田沼パスタビル5階 TEL. 047-475-0164 ☑ pasta@kashikuma.co.jp







# 有限会社 かし熊 創業100周年記念誌





有限会社かし熊は2020年に創業100周年を迎える事が出来ました。これもひとえに地域の方々やお客様、業者様のご支援、会社を支える社員の働きがあってのことと心より御礼申し上げます。

振り返れば1920年(大正9年)に祖父の 椎名波太郎が食堂を開業して以来、関東大 震災、世界恐慌、太平洋戦争、類焼に依る 建物焼失、バブル崩壊、東日本大震災、そして 現在はコロナショックに世界中が震撼する などの、幾多の困難を乗り越えて迎えた創業 100周年は誠に感慨深いものがあります。

記念の年にあたり、津田沼パスタビル 1階のエレベーターホールを改装、看板類を 一新しデジタルサイネージやAEDを備え付け、 ご利用頂けるお客様やテナント様が使い易 く安心できる設備を整えました。

## かし熊 三代目 昭和28年2月生まれ 船橋市出身 市川学園、中央大学商学部卒業

25歳でマクドナルドフランチャイジーを目指してアルバイトを始め、ビル計画に参加する。29歳でパスタビル竣工、マクドナルド津田沼駅前店開業、27年間オーナーオペレーター、30歳で結婚、41歳で代表取締役。

地域では消防団、飲食組合、前原小PTAに 携わり、前原商店会、北口街づくり協議会、 新南北活性化懇談会、津田沼駅南北の商店

## ごあいさつ

有限会社 かし熊 代表取締役

椎名博信

これは地域と共に発展する弊社のポリシーを反映したもので、これからも地域の発展に 貢献していく決意を表したものです。

引き続き、ビル管理者としてご利用頂ける お客様の安心・安全・快適への取り組みを推 進し、テナント様との共栄を目指します。

弊社は次の10年、20年、そして更なる100年に向けて新たな一歩を踏み出しました。「あらゆる困難に際しても、社員・家族が一丸となって乗り越えていく」という先代や諸先輩方から受け継いだDNAと情熱を絶やすことなく、永続的に存続、発展が出来る企業を目指すと共に、豊かな社会の実現に貢献していく所存です。

今後とも末永くご支援を賜りますよう、 よろしくお願い申し上げます。

# 会にも加入、船橋商工会議所常議員、八坂神社責任役員、防犯力メラ協議会会長を務める。



写真左より:次男 貴之、中央:長女 佳奈子、右:長男 航一

## 歴代社長









## かし熊創業者 1891年~1957年 茨城県取手市出身 椎名波太郎

明治24年生まれ。故郷を離れ、千葉街道(国道14号・習志野市 谷津2丁目)の菓子熊商店で商売を学び、大正6年に結婚。大正 8年総武鉄道(現JR)津田沼駅前に土地を購入し大正9年6月 に29歳で「菓子熊支店」の看板を掲げ食堂と雑貨販売を始める。

後に改築して「かし熊旅館」を開業、陸軍鉄道連隊や騎兵旅団、 運輸業者が多い津田沼の街で商売を続ける。おおいに繁盛した 旅館は妻(べん)の故郷館山市から大勢縁者が手伝いに集まり 今日の礎を築いた。(松井天山の鳥瞰図には千葉街道の菓子熊 商店が描かれている)



## かし熊二代目 代表取締役 1923年~1996年 船橋市出身 椎名 丈男

大正12年2月生まれ(関東大震災は9月)、現在の県立船橋高校を卒業して兵役につき終戦後に跡を継いで旅館・飲食業に携わり、後には割烹かし熊として結婚式が行われるほどの規模にまで商売を発展させた。

昭和31年暮れ (1956) に新築した旅館は翌年3月15日に起きた大火の類焼に依り僅か3か月で全焼し大変な借財が残ったが、旅館と割烹の再建を果たした。地域においては消防団や八坂神社役員として活動し、船橋市立前原小学校の第3代PTA会長を務めた。昭和45年 (1970) に有限会社かし熊を設立。船橋商工会議所議員、津田沼駅北口土地区画整理事業の審議委員を務め、昭和57年には津田沼パスタビル開業。船橋市食品衛生協会や千葉県環境衛生同業者組合、飲食店組合等の要職に就き、昭和55年 (1980) には食品衛生功労を認められ厚生大臣表彰を受けた。

## 創業100周年記念誌に寄せて



船橋市長松戸 徹様

「かし熊」が創業100周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴社が創業した大正9年は、前年まで続いた第一次世界 大戦の大戦景気が一転、戦後恐慌に突入した時代でしたが、 旅館業を創業して以来、飲食業やビル管理と事業を変化させ ながら飛躍を続けると共に、地域の賑わい創出にも大きく 貢献されてきました。

これも、創業者である椎名波太郎氏の「かし熊」の経営及び地域発展にかける情熱が丈男氏、博信氏と引き継がれ、親子3代に渡り不変の努力を続けられてきた賜物であり、心から敬意を表すると共に深く感謝申し上げます。

本市も、大正9年当時は、市域の人口は3万4千人でしたが、昭和12年の市制施行以降発展を遂げ、今では人口64万人を超える全国有数の都市へと成長を続けております。

「かし熊」が、100周年という大きな節目を機に、これまでの 歩みの中で築かれてきた信頼と実績をもとにますます繁栄 されますことをご祈念申し上げます。



船橋商工会議所 会頭 篠田好造様

このたび、有限会社かし熊様が創業100年を迎えられたことを心よりお喜び申しあげます。

大正9年、初代の椎名波太郎氏が旅館と小間物販売を営む「かし熊」を創業され、その後二代目椎名丈男氏が結婚式も行える旅館として「割烹かし熊」を盛り立てられ、船橋商工会議所においても、昭和51年から1号議員としてサービス業部会と産業教育委員会でご活躍されました。

三代目である現社長の椎名博信氏は、平成6年に会社を引き継ぎ、津田沼駅前の共同ビル再開発に携わり、平成10年から当所1号議員、平成13年には常議員に就任し、商業第1部会部会長、地域振興委員会委員長を歴任されました。また、津田沼まちづくり協議会にも参画し、船橋市と習志野市の双方の発展に尽力されております。

地域活動を行いながら企業を三代に亘り100年維持するということは、筆舌に尽くせない努力の賜物であると推察いたします。

今後とも船橋商工会議所での地域活動へのご協力をお願いするとともに、更なる会社のご発展をお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。



前原睦自治会 会長遠 藤 征 敏 様

かし熊の創業100周年おめでとうございます。

自治会を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。 先代の後を引き継ぎ、歴史を刻む中で、かし熊の発展に 持ち前の手腕を発揮されました。

地域、商店街等の変化を肌で感じ、商店会長、八坂神社 総代、防犯カメラ設立代表、暴力団排除連絡協議会副会長 等などに取組まれたことは、何事にもまして人一倍地元愛 が深いものと敬意を表します。

八坂神社については両市(船橋市、習志野市)に跨る問題を解決し総代として活躍しておられます。防犯カメラ設置では当初プライバシー問題等で意見も有った中、船橋市と条令制定を協議して設置に立ち向かって下さいました。現在の犯罪抑止・事件解決に大いに役立っています。

今後とも安心安全な街づくりに微力ながら協力させて 頂きます。かし熊のご繁栄、椎名社長のご健勝、活躍をご期 待申し上げお祝いの言葉と致します。



船橋市前原商店会 会長渡 邉 勝利様

創業100年を迎えられ心よりお祝い申し上げます。

こうして100周年をお迎えになられたのも先代、椎名 社長をはじめ家族の皆様、社員の方々の努力の成果だと 思います。

椎名社長は17年間に渡り商店会長を務め、船橋商工会議所商業第1部会の部会長として地域の皆様とともに街の発展や課題解決の為に尽力されてこられました。

さかのぼれば津田沼駅北口の区画整理事業、フランチャイジーとしてマクドナルドの多店舗化、複数ビルの経営、南北3商店会の交流など街の代表としても長年ご活躍されました。

津田沼の街は2年後に新京成電鉄に依る大規模開発が計画されています。その開発が未来の前原地区発展に繋がる様、会員の皆様とともに努力して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

これからも100年企業の経験を活かし、より一層のご繁 栄を心からお祈りいたします。

## 有限会社かし熊 創業100周年記念誌に寄せて



昭和53年に駅前の仮店舗で前社長に初め

「近隣に大型マンションが建つ計画が有り、かし熊のビル建設に差しさわりが無いでしょうか」と相談が有りましたので「建物のボリュームを記した建築図面と計画書をデベロッパーに渡します。既に資料を提示してあるので、かし熊にクレームが及ぶ事はありません」と答えました。

てお会いしました。

また、銀行ビルとかし熊ビルを同時建築で共同ビルに準じた形態を作れないかと相談がありました。一体型の共同ビルしか経験の無い銀行との調整は困難を極め、社長と共に銀行本店に何度となく通い苦労の末、着工に至り昭和57年に津田沼パスタビルが無事竣工しました。

その後、前社長から労をねぎらいたいとの 連絡があり、夫婦で自宅を訪問しました。

「大変苦労をかけました。先生のおかげで夢だったかし熊ビルができ、銀行からも理想の店舗が出来たと感謝されました。先生のお力添えで息子はこの仕事を通じて大きく成長しました」「建築を知らなかった社長が僅か数週間で理解するようになり、この仕事

# 馬場一級建築士事務所 馬場 明光様

は成功すると確信しました」「そう云って戴 けると嬉しい限りです。二人で力を合わせ私 の想像を超えたかし熊ビルが出来ました。 この3年間で息子は大きく成長しました。私 の役目はここまでです、これから先は息子に 全てがかかります。どうか息子の仲人を引き 受けてください。引き続き息子の力になって ください」

前社長からかし熊ビルを依頼され、後継者の仲人を頼まれるなど、設計者としてこれ ほど信頼を受けるとは何と光栄なことか。前 社長の意思と信念を受け継いだ社長は、これから先も脈々とかし熊を発展させていくことでしょう。

創立100周年に寄せて、心からのお祝いと 益々の発展を祈念します。



昭和58年5月 結婚披露宴 椿山荘にて

## 地域と歩んだ かし熊の100年

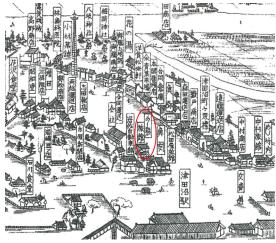
### 津田沼駅北口の変遷

軍都であり物流の拠点であった津田 沼駅(駅の開業は1895年 明治28年125 年前)の北口で、創業者椎名波太郎は 大正8年4月本所の栗原条吉氏から土 地を購入し(当時の住所は千葉県二宮 村大字前原東金道南236)、大正9年 (1920年波太郎29歳)に「かし熊」を創 業した。(大正9年6月吉日竣工)

昭和3年の鳥瞰図にも「かし熊旅館」 と描かれている。駅前には旅館、商店、 運送店などが並び当時の賑やかさが 偲ばれる。

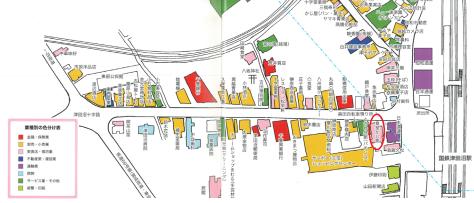
また商店街略図には、木更津まで チラシを入れたサンポーショッピング センターや、イトーヨーカドー隣接地 に移転する前の八坂神社が描かれ、昭 和の繁盛ぶりが伺われる。(裏表紙の 航空写真と同時期)

昭和30年代後半から再開発の話が 始まり、昭和45年に発足した津田沼駅



昭和3年に描かれた松井天山の鳥瞰図 (抜粋) かし熊旅館として掲載

北口商店街近代化研究会は船橋、習志野両市にまたがる商店会に所属する会員、会議所、市役所、千葉県をもって組織された。津田沼再開発事務所は同年船橋市前原に設置され、翌年津田沼1丁目公園に移設。千葉県は平成元年に「完成記念誌」を、前原商店会が平成16年に「50周年記念誌」、船橋市郷土資料館が平成26年に「津田沼の今昔」を発刊。多くの写真が掲載されている。



昭和45年の津田沼駅北口の商店街略図(抜粋)食堂かし熊として掲載

# かし熊のあゆみ



椎名波太郎



創業者の波太郎と共に采配を



ふるって商売を切り盛りした 気丈なおかみさんであった



昭和 大正

1921 1920

1926



大正9

大正12年 関東大震災



大正15年 大正天皇崩御



昭和4年世界恐慌



波太郎が修業した「菓子熊」の支店の看板が掲げられている



昭和初期、改築してかし熊旅館となり、騎兵連隊、鉄道連隊の軍人と その家族ら多くの客で賑わう

#### かし熊沿革 大正9年~昭和54年

① 大正9年 かし熊創業

② 昭和32年 かし熊旅館火災により消失・再建

❸ 昭和45年 有限会社かし熊設立

4 昭和49年 幕張マイフード開店

⑤ 昭和54年 酒蔵かし熊営業

⑥ 昭和55年 椎名丈男 厚生大臣表彰受賞

1954 1947 1937





昭和12

昭和6年 満州事変



昭和29

昭和12年日中戦争開戦



昭和40年代に入り旅館を改築して割烹料理店を開店する 大広間では宴会も数多く行われていた



津田沼駅北口の区画整理事業に伴い、ビル竣工までの期間、プレハブ店舗で 酒蔵かし熊を営業



丈男の妻 冨美子 家業の仕事と3人の子育てに はげむが病に倒れ、31歳の若 さで旅立った





丈男の妻 若子 亡き先妻に代わって3人の子育て と家業にはげみ、お店の調理場で 朝早くから夜遅くまで仕事をする 働き者のおかみさんだった



① 大正10年 京成電気鉄道 京成津田沼駅開業

2 昭和12年 船橋市市政施行

8 昭和22年 新京成電鉄 新津田沼~薬円台駅開業

4 昭和29年 習志野市市政施行 6 昭和35年 前原団地入居開始

⑥ 昭和42年 サンポーショッピングセンター開店

7 昭和45年 津田沼駅北口土地区画整理事業計画認可

8 昭和47年 総武線複々線化(東京~津田沼)

9 昭和51年 長崎屋開店

⑩ 昭和52年 西友・パルコ津田沼店、イトーヨーカドー津田沼店開店

⑪ 昭和53年 丸井、サンペデック開店 サンポー、長崎屋閉店

1967



椎名丈男は食品衛生協会の要職に就き、店舗 経営と衛生指導に長く携わった功績を認められ 厚生大臣表彰を受ける

昭和32

昭和45

1970

昭和49

1972 1974 1976 1977 1978 1979 1980

1957

1960

昭和45



昭和14年 第二次世界大戦開戦 昭和16年 真珠湾攻撃·太平洋戦争開戦





昭和20年 原爆投下・終戦



昭和55

昭和28年 NHK放送開始



津田沼パスタビル竣工 Pasta (パスタ) の由来 進むという意味の「Pass」と「Station」の「sta」 を組み合わせた造語。街(駅)の発展に貢献出 来るようにとの想いが込められている

椎名博信





津田沼パスタビル完成披露祝賀会 現社長と先代社長

#### 津田沼の変遷 平成元年~平成15年

12 平成元年 津田沼駅北口土地区画整理事業完了 (3年 スキーイング津田沼開業(平成9年閉鎖) 



昭和33年 東京タワー完成

1987 1982

昭和62

昭和63

1988





昭和45年 大阪万博開催



昭和47年 沖縄返還



現社長 椎名博信がマクドナルドフランチャイズオーナー としてマクドナルド津田沼駅前店を津田沼パスタビル 1階でグランドオープン



日本マクドナルド創業社長 故藤田 田氏来店 現社長は当時店長として働いていた

平成3

1991

平成3



影山奈穂子 椎名家長女 マクドナルドのお客様係として 父丈男の片腕としてビル管理 活躍、店長の兄と共に店舗運営 業務をこなす に力を注いだ

平成

1989

平成元



椎名恵美子 椎名家次女





平成9年 新津田沼パスタビル竣工

かし熊沿革 昭和57年~平成18年

⑩ 平成3年 鴨川パスタ竣工 ● 平成4年 フレグランス津田沼取得

1 平成9年 新津田沼パスタビル竣工

12 //

平成4

1994

☑ 昭和57年 津田沼パスタビル竣工 マクドナルド津田沼駅前店 開店

③ 昭和62年 西千葉パスタビル 取得、改修工事完了 9 昭和63年 ベアハイツ幕張竣工、管理開始

ベアハイツおゆみ野 竣工 13 平成6年 かし熊三代目 椎名博信代表取締役就任

15 平成13年 パステルビレッジ市川取得、管理開始

16 平成18年 新規事業 岩盤浴 百花を津田沼パスタビルにオープン

1997

平成9



平成13



32歳で習志野ロータリークラブ入会 会長2回、ガバナー補佐を務める ロータリーの学びが経営の礎となった



新津田沼パスタビル竣工 祝賀会には船橋、習志野両市から来賓が参集した



新規事業 岩盤浴 百花を津田沼パスタビルにオープン



百花スタッフ一同と







平成5年今上天皇・皇后両陛下のご成婚 を祝して先代社長自筆の慶事広告掲出











平成3年 バブル崩壊



平成7年 阪神・淡路大震災



昭和39年 東京オリンピック開催



はまゆうパスタビルに「もんじゃダイ ニングTAMA」を出店したサッカー 元日本代表・ワールドカップ2度出場



はまゆうパスタビル 工事に関わった皆様

平成20



平成20年 はまゆうパスタビル取得 大規模リニューアル工事完了

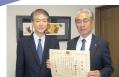


平成25年 ロッソパスタビル取得



平成25

平成21 2009



平成27年6月に船橋税務署より「優良申 告法人」として清水署長表敬を受ける

#### かし熊沿革 平成20年~令和2年

1 平成20年 はまゆうパスタビル取得、リニューアル工事完了

18 平成21年 マクドナルドフランチャイズ契約終了

⑩ 平成25年 ロッソパスタビル取得 管理開始 20 平成28年 マロニエ通りパスタビル取得 管理開始

2 ○ つか 2 年 津田沼パスタビルエントランスホールリニューアル



ソークを活か 予成23年まで

平成28年 マロニエ通りパスタビル取得



平成13年アメリカ同時多発テロ事件



平成20年 リーマンショック



平成23年 東日本大震災









かし熊は千葉ジェッツふなばしの サポートカンパニー



かし熊四代目 椎名航一 平成30年入社 かし熊はご先祖様が津田沼の地で商売を始め

地域と共に発展してきた企業です。 私もその歴史を継承し、地域と共に明るい未来 を紡いでいけるよう精進してまいります。



平成31年 生前退位・即位の礼

創業100周年記念事業 津田沼パスタビルエントランスホールリニューアル





少数精鋭のかし熊従業員一同 後列左 業務部課長 田上辰夫、 後列右 事務員 前田真季 前列 業務部部長 小野利男

コメント 多大なる時間経過「百年」と変わりゆく世相の中、「かし熊」の一翼を担う事の喜びを新たに

田上辰夫 次の100年に向けて、1日、1日を大切にして業務に取り組んでいきます 前田真季 かし熊イズムを継承しつつ、令和における進化と発展に(微力ながら)貢献します



令和2年 新型コロナウイルス感染拡大により



平成27年 八坂神社玉垣奉納



津田沼ふれあい夏祭り かし熊男衆のいなせなハッピ姿

平成30年7月21日 神輿渡御動画



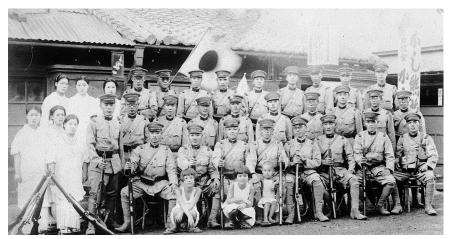


東京オリンピック開催延期



令和2年4月 新型コロナウイルス感染拡大防止を 目的に緊急事態宣言発令

#### 江戸・明治・大正時代 椎名家のルーツ



かし熊旅館は津田沼駅南口の、陸軍鉄道第2連隊に召集された軍人や軍施設を訪れる人達の休憩所や宿泊施設として利用されていた

椎名波太郎の父は椎名亀吉、祖父は椎名 六兵衛で茨城県北相馬郡山王村出身。

曽祖父は調べている最中だが、「椎名」の 苗字が銚子・旭に多い事から利根川で繋が る太平洋沿岸地域の出身ではないかと推察 される。

慶應3年に生まれた亀吉は、守谷の菅谷

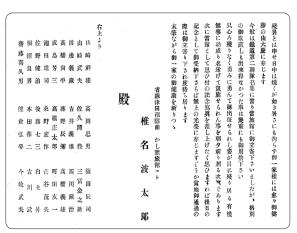
家次女(とよ)と結婚した。

亀吉の手掛かりを探して孫の丈男夫婦が 取手の長禅寺を訪ねた帰りに立ち寄った取 手駅東口女坂下の今井屋商店(大師せんべい)の店主と話すうちに偶然にも亀吉の妻と 今井家に嫁いだ菅谷そめが姉妹であること、大正9年に亀吉が亡き妻の為に念仏院

> に建てた墓を今井家が守って くれていたことが分かった。

> 今井家との偶然の出会い は祖先の導きによるもので あろうか。

> 取手と船橋は大正時代から縣道21号船橋取手線(県道船橋我孫子線)で結ばれていたこともあり、20代の波太郎は新天地を求めて取手から津田沼に移り住み商売を始めた。



上の写真に写っている出征兵士に送ったお礼状 波太郎がお客様を大切にする姿勢が伝わってくる (昭和12~16年頃)

### 金子家と、丈男の兄弟(文子、良子、久雄の商売)

椎名丈男は昭和27年に高橋皆市氏が仲人 になり船橋市宮本の金子家の長女冨美子と 結婚。(写真は冨美子の父金子孝一郎氏)

金子家は現在の東葉高校の前身だった 船橋学園創設にあたり土地を寄付した篤 志家である。長男の金子小太郎氏は船橋市 消防団の第13代消防団長を務め叙勲され ている。

丈男の妹弟:長女の文子は館山駅前でセンスの良い洋服と小物を揃えたブルーリボンを経営、毎週馬喰町のエトワール海渡に仕入れに行き都会のセンスで固定客を掴んだ。

料理の上手な次女良子は津田沼駅前で甘味処りぼんを出店し、速水ビルを建設後は蕎麦処志な乃を経営、現在は良子の次男啓輔が引継ぎ店舗を拡大する。

次男の久雄は、津田沼駅南口で設備営繕

の研水工業とグリーンレンタルの津田沼ガーデン、郷土料理店のとなりのとなりを経営、椎名ビル建設後は小料理屋の若菜で人気を呼んだ。



金子孝一郎氏

兄弟4人は皆経営に関わり、商売人の血筋 が流れている事が分かる。







]

久雄



親族が一同に会しての100周年祝賀会 会場を提供して頂いた丈男の時代から長く親交のあった東魁楼の脇田様に感謝します

100年を振り返れば創業より最初の30年間は旅館業、次の30年間は飲食業、現在の40年はビル賃貸業にマクドナルドと業態を変えながら商売を続けて来たことが分かります。



本来はで支援を頂いている地域の皆様をお招きして4月に100周年祝賀会を開催する 予定でしたが、新型コロナウィルス感染拡大により、開催中止という苦渋の選択を致しました。記念誌の編集作業も厄災の中で進めましたが、快く寄稿に応じて頂いた皆様、記念誌の編集と製本をお引受け頂いたスタジオ・イワノの岩野英穂様に感謝申し上げます。

(令和2年5月校了)